

# H28.6.22梅雨前線による大雨

平成28年6月22日から23日にかけて、梅雨前線が九州北部で停滞し、佐賀県では各地で大雨となりました。県内の多くの河川で洪水警報が発表され、六角川と牛津川では氾濫危険水位を超える水位を記録しています。



牛津川 (多久市牟田辺地区)



牛津川 (多久市羽佐間地区)

国土交通省  
武雄河川事務所  
牛津出張所

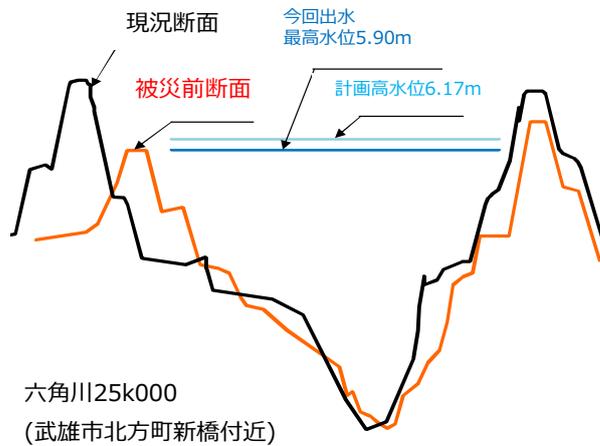
## 治水対策により浸水家屋が激減

今回の大雨は、昭和55年8月洪水(浸水戸数4,835戸)に匹敵しますが、**堤防や排水施設の整備を行い、河道内の土砂を取り除いて洪水を流れやすくすることで浸水戸数は当時の約1/100に減少しました。**  
(浸水戸数46戸)

○河川改修を行わなかった場合、今回の大雨では堤防から川の水があふれるか決壊のおそれがありました。

近年最大の平成2年7月洪水に対応するためには、今後も計画的な治水対策が必要です。

### 六角川の改修状況と事業効果



## 排水機場・排水ポンプ車フル稼働

六角川水系では平成5年当時9ヶ所あった排水機場を現在16ヶ所に増設し、ポンプ稼働による総排出量を40m<sup>3</sup>/sから190m<sup>3</sup>/sに増やしました。今回の大雨は、平成5年8月洪水よりも雨量が多かった(約1.2倍)ものの、浸水戸数は約1/20に減少しています。



多久市東多久町排水状況



山崎川排水状況

発行所  
武雄河川事務所  
牛津出張所  
小城市牛津町上砥川47-9  
(〒849-0305)  
TEL(0952)66-0315  
FAX(0952)66-0326  
ホームページアドレス  
<http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/>  
9月1日  
第11号  
紙面の問い合わせ  
上記発行所へ

# 熊本地震

河川堤防の亀裂や護岸の倒壊など大きな変状が多くの箇所が生じた梅雨時期が目前に迫り、一刻も早い緊急復旧工事が求められた

※詳しくは「九州地方整備局」のHPの下記バナーよりご覧下さい。

**熊本地震情報** 九州地方整備局の  
取り組み紹介

## 早期復旧に向け、全国から延べ約8,200人が被災地へ集結

地震発生後、崩壊した道路、亀裂が走った河川堤防、崩壊した法面などの被災調査のため、全国の国土交通省職員により編成されたTEC-FORCE隊員が被災地に集結しました。武雄河川事務所からは、22名の職員が派遣され、阿蘇市所管の132河川のうち90河川の被災調査を行いました。また、自衛隊や警察・消防による捜索活動の安全確保のため、地盤の安全性の点検や、降雨後の作業再開に関する助言なども行いました。

派遣された職員たちは、「余震が続く中の活動で緊張を切らすことができなかった」「目を覆いたくなるような被災状況の数々だった」など、厳しい現場状況の中、被災地の安全の確認、早期復旧に向け、日夜懸命の任務を行いました。

～被災状況を知ってもらい、防災意識の向上に繋げて欲しい～



遊水地の周囲堤の被災調査を実施



被災地の上空から全貌を把握するため防災ヘリによる調査を実施



(H28.6.9)



現場の作業員の安全を確保するため無人化施工を実施



車が通れない箇所が多数あり、とにかく歩きました



(無人化施工の状況)



(操作室から遠隔操作)